

令和7年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和7年11月12日(水) 仙台第3号同庁舎 8階 第2会議室
委員	委員長：伊永大輔(大学教授) 委員：上林佑(弁護士) 委員：八島徳子(公認会計士・税理士)

I-1 防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	東北防衛局 令和7年7月1日 ~ 令和7年9月30日
審議対象件数	19件

1 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	1件(3契約)	(審議概要) ・契約状況の説明 ・抽出案件の概要説明 ・抽出案件の審議
一般競争(政府調達協定対象外)	1件(3契約)	
指名競争	0件	
随意契約	0件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 ○役務 ◇一般競争(政府調達協定対象外)</p> <p>1) 落札価格について</p> <p>① 令和7年度三沢飛行場及び三沢対地射爆撃場周辺移転措置事業に係る不動産鑑定評価業務</p> <p>② 令和7年度三沢対地射爆撃場周辺の地役権設定に係る不動産鑑定評価業務その1</p> <p>③ 令和7年度三沢対地射爆撃場周辺の地役権設定に係る不動産鑑定評価業務その2</p> <p>1 上記事案の①について、低落札率となった理由を説明されたい。</p> <p>2 ①は、A者が予定価格に対して約25%と低い価格で落札し、②③では、A者が落札には至らなかったものの予定価格以内の予定価格に近い応札額となっているがどのようなことが考えられるか、説明されたい。</p>	<p>審議を受けるにあたって落札者に聞いたところ、①を落札したA者は、新規参入であり、実績を作りたいため入札金額を低くしたと聞いております。</p> <p>①は、土地の評価及び買収価格算定の業務であり、②③では地役権設定のための鑑定業務のため、業務内容が違うことと、A者は新規参入ということで実績を作りたいので、かなり金額を落としてきたとのこと。①を落札したことにより手一杯となり、②③の入札には実績作りとして参加はしたが、過去の事例から値引きをしなければ落札者にならないと思い、値引きしない金額で応札したので差がついたとのこと。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>3 過去5年間の類似案件はどのような推移となっているか、説明されたい。</p> <p>入札にあたって見積は取るのか。</p> <p>①～③の入札者は東北の会社か。</p> <p>東北地域外の方も入れそうだが。</p> <p>過去はそうだったかもしれないが、今はオンラインでいろいろできる時代であり、オンライン費用を含め、また、仕様書に現地確認の日数も入れれば良いのでは。</p> <p>情報保護が必要ない会議も多いと思われ、コスト削減もできるのではないかと思うので、検討されたい。</p> <p>東北局管内でなくても不動産鑑定はできるのでは。</p> <p>確かに実情を把握している方がいいと思うが、これから入札参加者を増やそうと検討すると東北管内以外からも来てもらった方がいいのでは。</p> <p>折衷案ではあるが、他局や本省が契約している不動産鑑定士を呼び込むとかはどうか。他にも全国展開している不動産鑑定士で、事務所を設けているところもあると思いますし、参加者を増やし、適切な判断や知恵を増やしていくのがいいのでは。例えば協会等あるのであればそこに声をかけるなど。</p> <p>実績を作ると何か良いことがあるのか。</p> <p>継続ということは随意契約になるということもあるのか。又は、入札時に有利になることはあるのか。</p>	<p>令和3・4年度の類似案件も落札率が低くなっているがこちらも新規参入者であり、実績を作りたいためと考えられます。</p> <p>国の基準があり、見積は取っておりません。</p> <p>はい。</p> <p>過去には（東北地域外も）要件に入れていたが、遠方のため、現地確認やヒアリングの日程調整ができなく、業務に支障がありました。</p> <p>情報保護の観点もあり、民間の方とオンラインができません。</p> <p>参考までに、調達部では現場とのタブレット等を用意し遠隔臨場を実施しておりますが、企画部は、今までやってないと思います。行おうとすると機器の調達も発生してきます。</p> <p>評価価格の元とするものであり地域の実情や特性を把握している業者がいいが、青森県内だけでは少ないため、東北管内としています。</p> <p>過去には東北に限定してない時期もあったのですが、我々が案内する現地確認や評価に対するヒアリングが必要であるが、遠方のためなかなか日程の調整がつかなかったりして履行期間が伸びてしまったりして厳しいです。</p> <p>東北に限定しているわけではなく、東北に競争参加資格があり、かつ事務所等があれば参加はできます。</p> <p>毎年類似案件の発注をしているので継続して地域の実情が把握できると、経験になります。</p> <p>随意契約になることや、入札時に有利になることはないです。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	<p>実績作りの意味があまりないと思う、①は安値で入れてきて、1ヶ月後の②③では辞退せず、予定価格の近似値で入れてきており、不自然と思われるのではないかと思います。</p> <p>〔総括〕 入札参加者を増やすために、積極的に声がけや、入札条件の緩和と検討を心がけていただきたい。</p>	<p>①を落札したことで手一杯となり、②③は、この（値引きのない）入札金額になったのかと思われます。</p>
2 談合案件の処理状況について		
談合情報件数	0 件	(審議概要) ・なし
項目	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	・なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見の具申又は勧告の内容	
	・なし	
3 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当事案なし		

令和7年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和7年11月12日(水) 仙台第3号同庁舎 8階 第2会議室
委員	委員長:伊永大輔(大学教授) 委員:上林佑(弁護士) 委員:八島徳子(公認会計士・税理士)

I-2 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	東北防衛局 令和7年7月1日 ~ 令和7年9月30日
審議対象件数	36件

1 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数		2件	(審議概要) ・契約状況の説明 ・抽出案件の概要説明 ・抽出案件の審議
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	一般競争(政府調達協定対象)	0件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件	
	プロポーザル方式	0件	
	随意契約	0件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	<p>○建設コンサルタント業務等 ◇一般競争(政府調達協定外)</p> <p>1) 1者応札について</p> <p>① 青森外(7)空調設備整備等設備設計</p> <p>1 1者応札となった理由はどのようなことが考えられるか。</p> <p>2 1回目入札と2回目入札の金額の差がかなり大きいがどのような理由が考えられるか。</p>	<p>令和5年度から自衛隊施設の最適化事業が始まり、設計業務が急増しており、東北における受注余裕のある設備設計業者が少なくなったためと考えられます。</p> <p>設計業務の積算は、官庁施設の設計業務等積算要領に基づき積算しており、新設建物では一般業務費で計上し、改修建物や外回り、解体建物は追加業務費を計上します。</p>

<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>3 1回目入札の前に積算の内訳点検を行っているとのことだが、入札者の積算は適正だったのか。</p> <p>4 業者目線でみると、2回目の金額では利益が全く出ないと思われるが、局は2回目の入札に入る前に補足説明を行ったのか。また、2回目の入札までの間にどのくらいの積算時間を設けたのか。</p> <p>仮に2～3者がいたとして、今の公告方法だと積算の誤解がありうる公告なのか。</p> <p>2) 高落札率かつ1者応札について</p> <p>① 空自秋田外(7)燃料施設整備配置検討</p> <p>1 高落札率かつ1者応札となった理由はどのようなことが考えられるか。</p> <p>2 件名が「配置検討」となっているが、契約概要を見るかぎり実施設計の割合が高いように見えるが、配置検討としたのはなぜか。</p> <p>3 同時期に契約概要と類似した「八戸外(7)燃料施設新設等配置検討」を発注しているが、「地区」以外に違いはあるのか。八戸の配置検討と併せて「配置検討」、「実施設計」として同じ種類ごとに発注したら参加者を増やせるのではないか。</p>	<p>入札者は新設以外の建物であっても必要の無い一般業務費も計上して1回目入札金額を入れており、2回目入札金額では修正した金額を入れたためです。</p> <p>上記の入札者の内訳の一般業務費以外は適正でした。</p> <p>2回目入札前に補足説明をおこない、1回目開札の約6時間後に2回目の入札を行いました。</p> <p>これまで同様の入札において誤解が生じていないことから、適正な入札公告を行ったものと考えています。</p> <p>本案件の配置検討及び実施設計の一部について、該当する歩掛かりがないため、見積徴取して積算を行っており、採用した見積における単価を入札前に参考に公表していることと、その他の実施設計については防衛省「土木工事に係る設計業務委託積算要領」に基づき積算し、こちらも同様に防衛省のホームページで積算要領を一般に公表していることから入札金額も下がらず高落札率となっていると考えられます。</p> <p>1者応札については、自衛隊が使用する燃料施設等の配置検討及び実施設計のため、一般的な土木設計に比べ専門性が高い業務となっており、応札者数が少なくなったと考えられます。</p> <p>本案件については、配置検討の対象が「秋田分屯基地」のみに対し、実施設計の対象が「秋田駐屯地外3カ所」であり、対象基地等の数からすれば実施設計の割合が高いように見えますが、積算価格における直接人件費の割合から、配置検討が1カ所約48%、実施設計が4カ所約52%であり、さらに最も価格の高い事業業務が「秋田分屯基地における配置検討」であるためです。</p> <p>「八戸外(7)燃料施設新設等配置検討」の業務内容は、「八戸貯油施設における米海軍のポンプ場新設」に係る配置検討及び「航空自衛隊三沢基地における整備格納庫新設」に係る配置検討であり、施設の種別では同様に見える配置検討ではあるものの、本案件は「航空自衛隊秋田分屯基地における燃料貯蔵施設」であり、駐留米海軍が使用する燃料ポンプ施設建物とポンプ機器類であり、用途及び適用規定が異なっています。</p> <p>仮に「配置検討」で一つの案件とした</p>

<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>〔総括〕 現在の発注努力について確認できましたが、1者応札がまだ多いので、事業者のヒアリングを行っていただき、引き続き工夫と検証を重ねて発注努力を続けていただければと思います。</p>	<p>場合、業務規模が大きくなり、入札不成立となる可能性があることと、「八戸外(7)燃料施設新設等配置検討」も質疑1で回答したとおり、専門性が高い業務となっていることから、各業務の組み合わせを変えたとしても応札者の増加につながることは考えにくいと思われます。</p>
-------------------------------------	---	---

2 談合案件の処理状況		
談合疑義件数	0件	(審議概要)
談合情報点検結果疑義	0件	・なし
項目	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	・なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見の具申又は勧告の内容	
	・なし	

3 入札結果の事後的・統計的分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）		
(審議概要) 指名停止・低入札の分析		
項目	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	・なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見の具申又は勧告の内容	
	・なし	

4 再苦情処理		
・該当事案なし		

令和7年度 入札監視委員会議事概要

陸上自衛隊東北方面隊

開催日及び場所	令和7年11月12日(水) 仙台第3号同庁舎 8階 第2会議室
委員	委員長:伊永大輔(大学教授) 委員:上林佑(弁護士) 委員:八島徳子(公認会計士・税理士)

防衛省発注機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
審議対象件数	3,034件(青森1,195件、弘前934件、大和905件)

1 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	37件	(審議概要) ・契約状況の説明 ・抽出案件の概要説明 ・抽出案件の審議
一般競争	26件	
指名競争	0件	
随意契約	11件	

	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 第380会計隊(青森) ○一般競争入札 [精米A 他5件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公告に示された入札参加条件は、競争性が担保されているものとなっているのか。担保されている場合、どのような条件となっているか。 ・予定価格作成に伴う見積徴取者は何者か。 ・予定価格の設定方法について説明されたい。 ・高落札率かつ1者応札となった理由はどのようなことが考えられるか。 ・先の委員会で取り上げた海自大湊地区の案件でも、落札者が落札していたものが多かった。380会計隊もほぼ全て同者が落札者となっている。青森市近辺でも同者しか対応業者がないのか。 ・海自に比べ1回の入札数量が比較的小さいが、これ以上分割するのは難しいのか。また、1回の調達数量を3,000～5,000kgとしているのはなぜか。 	<p>一般競争入札参加条件を「物品の販売」D等級以上とし、参加資格の級区分を一番下の級に設定。どの業者でも資格を持っていれば幅広く参入可能です。</p> <p>3者です。</p> <p>入札参加業者からの見積価格を参考にして作成しています。また、予定価格調書作成時の前月の実例価格も参考にしています。</p> <p>在庫数量の関係上、納品数量を揃えられる業者が限定されていたためです。</p> <p>他に2者いますが、陸上自衛隊以外の取引先との業務が重なった場合は、入札への参加はできないと考えられます。</p> <p>分割して入札の数量を小さくすれば他の業者が入ってくる可能性は高くなるが、仕入れ価格が高くなるデメリットが考えられるためです。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>(1回の調達数量 海自：16,380kg 陸自：3,000～5,000kg)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者以外への市場調査及び海自と単価比較は行っているのか。 ・ 応札業者は最大3者いるが、落札者が一番大きい会社であるのか。 ・ 精米の納入は比較的多くの会社に対応可能と思われるが、落札者他2者に限られているのはどのような事情か。青森市まで輸送するのが負担となっているのか、あるいは大量の精米を納入できる業者がそもそも東北にあまりいないのか、金額が安すぎるからなのか、どのあたりに問題があると思われるか。 ・ 東北全体がコメどころであるから、納入できる業者はいるのではないか。 <p>【委員長小括】 精米の取扱業者に資格取得を働きかけ、入札への参加を呼びかけてもらいたい。</p> <p>【抽出案件】 第380会計隊（青森） ○一般競争入札 [ターゲットベース（一体型）ほか4件他2件] ・ 公告に示された入札参加条件は、競争性が担保されているものとなっているのか。担保されている場合、どのような条件となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格作成に伴う見積徴取者は何者いるのか。 ・ 高落札率かつ1者応札となった理由はどのようなことが考えられるか。 ・ 契約件名を見るかぎり、購入品は射撃訓練関連品と思われるが、特別な仕様のものか。他のメーカー等が存在しないのか。応札者以外への市場調査は行っているのか。 	<p>毎月の平均使用量が3,000～5,000kgであることから、調達数量3,000～5,000kgが適正であると判断しています。</p> <p>今まで比較は行ってないですが、今後、入札結果を確認して参考とします。</p> <p>落札者は、3者の中では最も大きいと思われる会社です。</p> <p>青森県は業者数が少なく、また経済圏も小さいためと認識しています。</p> <p>青森県へ大量の精米を納品できる能力のある業者が限られていると認識しております。また、一般競争参加資格を持っていないため参加しないと考えています。</p> <p>一般競争入札参加条件を「物品の販売」D等級以上とし、幅広く設定。資格を有する業者が幅広く参加できるようにしています。</p> <p>1者です。</p> <p>落札業者の見積価格を採用しているため高落札率になったと考えます。</p> <p>ターゲットボードペーパーについては、通常の紙では雨の中では耐久性がないため、水をはじく専用の紙を使ったものを調達しています。 本年調べたところ、東京都の企業が類似の商品を扱っていることを確認しました。今年度から参入していただけるよう声掛けしています。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・納期が同じになっているものもあり、まとめて発注をかけられないのか。</p> <p>・落札者はこの品目のメーカーであるのか。カタログの取扱業者であって、製造業者が別にあるのであれば、そこに声をかけて参加してもらうことができる。</p> <p>【委員長小括】 2者では競争性が弱い。前述の東京都の業者を加え、できれば3者から見積もりを取り、入札に参加してもらうことを目指していただきたい。 他の自衛隊、警察等がどの業者から調達しているのか情報共有するのも手段である。</p> <p>【抽出案件】 第380会計隊弘前派遣隊（弘前） ○随意契約 [松原宿舎給湯器交換 他5件] ・給湯器はどのタイミングで交換を行うのか。</p> <p>・見積徴取を1者にしか行っていないのはなぜか。</p> <p>・随意契約とした理由はなにか。</p> <p>・少額随契を行うために分割発注として見えるが、まとめて発注をかけられないのはなぜか。</p> <p>・契約金額・予定価格を見る限り、給湯器1機につき402,028円が固定価格（カタログ？）らしいがどのような理由か。作業時間の実績に基づき、適切に工数を算出し予定価格に反映させることはできないのか。</p> <p>・全国的に問題であるが、都市ガスは競争性がない。近傍から参入してもらえるよう、お声がけができるといい。弘前の近傍にどのような地域があるか。</p> <p>【委員長小括】 参加してもらうにはどのような発注条</p>	<p>会計隊では調達要求を取りまとめる時期を1～3月に統制しているが、数度に分けて調達を実施しています。年度末が納期の案件が何件か発生しておりますが、まとめるよう努めています。</p> <p>落札者は、射撃に関する品目の製造業者であり、カタログ商品の販売業者でもあります。</p> <p>不具合発生時に交換を行っています。</p> <p>入居者の生活環境維持の観点から早急に調達する必要があります。弘前市内で都市ガス対応の業者が1者であるため、1者となっています。</p> <p>上に同じです。</p> <p>故障の都度、調達要求書を提出している。契約日は同日となっているが、実際の要求年月日は令和7年3月12日及び令和7年3月14日です。</p> <p>令和6年度に交換した給湯器は同型機器を使用し資材費、施工条件が同一であったため同額になっています。また対応可能な業者が弘前ガスのみであるため、仮に工数を算出して予定価格を立てて不調となった場合、入居者に対して不利益が被ってしまうなどの緊急性もあり、市場価格を採用して予定価格を作成しています。</p> <p>五所川原市、青森市です。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>件ならよいか、ヒアリングをして確認し、それに合わせて見積もりを取るなど考えられる。</p> <p>他県にも広めて3者を確保できれば望ましい。</p> <p>【抽出案件】 第381会計隊大和派遣隊（大和） ○一般競争入札 [高気通気性網状構造マットレス（フォールディング式） 他1件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公告に示された入札参加条件は、競争性が担保されているものとなっているのか。担保されている場合、どのような条件となっているか。 ・高落札率かつ1者応札となった理由はどのようなことが考えられるか。 ・他駐屯地の調達品目表によると「当該製品を指定するものではない」としているものの、カタログ製品の会社名として落札者が記載されている。大和駐屯地も同様か。大和駐屯地以外の部隊（全国）で同社以外の業者が納入した実績はあるのか。あればその者に見積依頼しているのか。 ・同等品申請をクッション性が足りないとして不合格としている。参加業者を増やせる工夫はできなかったのか。特殊なマットレスなのか。 ・今後、厚みのニーズを下げることは難しいか。 ・多数ある同等品以上の商品をなぜ納入していただけないのか。 <p>【委員長小括】 仕様書の規格は、落札者の商品を上げて同等品以上としているが、別の商品も連記してかつ同等品以上とすれば、他の業者も参入しやすくなるのではないか。本業者のみの1者応札を避けていただきたい。</p>	<p>競争性は担保されていると考えています。入札参加条件は、「全省庁統一資格」の「物品の販売D以上」です。</p> <p>高落札率になった理由は、落札者の見積価格がそのまま入札価格だったためと考えられます。</p> <p>1者応札になった理由は、同等品申請があったのですが、こちらを不合格としたために入札予定業者が参加できなかったためと考えられます。</p> <p>また、同等品申請が不合格となった理由は、クッション性としてマットレスの厚さを指定していたが、満たされていなかったためです。</p> <p>大和駐屯地も同様となっています。なお、大和駐屯地以外の部隊に確認したが、他の業者から納入された実績の情報はなかったです。</p> <p>同等品以上のマットレスは多数存在しました。</p> <p>参加を希望した業者の同等品は厚みが足りなかったため不合格となりました。</p> <p>隊員に意見を取ったところ、クッション製のある物の要望があったので、レベルを下げることは難しいです。</p> <p>業者に、利益が上がらないという判断があったのではないかと考えられます。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>また、公告も普段見ている業者しか見ない。見ていない業者へ参加資格を取ってもらう、見積もりを出してもらうよう積極的に声がけしていただきたい。</p> <p>【抽出案件】 第381会計隊大和派遣隊（大和） ○随意契約 [U Vブラック土のう（200枚入）ほか11件 他4件] ○一般競争入札 [U Vブラック土のう（200枚入）ほか10件] ・少額随契にするために分割発注にしているように見えるが、まとめて発注をかけられないのはなぜか。</p> <p>・打ち込み杭について、契約名だと特別仕様ではないように見える。見積徴取した相手方は1者となっているが、他に業者はいないのか。</p> <p>・一般の人でも購入できそうな品目であるが、オープンカウンター方式は使えないのか。</p> <p>・No. 9について：一般競争入札のNo. 73は随意契約No. 9に件名が類似している。一般競争入札では競争が働いているが、1者随意契約としたのはなぜか。</p> <p>・随意契約の「U Vブラック土のう（200枚入）ほか11件」と一般競争入札の「U Vブラック土のう（200枚入）ほか10件」とでは、後者の落札率が著しく下がっている。低入札価格調査制度はないのか。</p> <p>・審議案件の説明において「随意契約できる金額の範囲内であるから随意契約にした」ということだが、随意契約に付した案件も一般競争入札とすれば落札率が下がったのではないか。なぜ今回、随意契約としたのか。</p> <p>・早期に発注（公示）することはできなかったのか。</p> <p>・必要がないものを調達したのではないという前提であるが、必要なものは既に決まっているので、経費がついてすぐに</p>	<p>自衛隊の訓練場に使用しているが、年に2回、春と秋に整備を実施しており、その都度、必要な枚数を購入しているためです。</p> <p>打ち込み杭の取り扱い業者はいるものの、数量の面で応札できる業者が他になく、結果として1者になっています。下見積りの段階では、他に2者から回答を得ているが、数量・納期の面で対応できないと伺っています。</p> <p>随意契約の金額の範囲であるため、随意契約としている。No 9、32及び51について、オープンカウンター方式で実施しています。</p> <p>随意契約の金額の範囲であるため、随意契約としました。見積を3者に依頼し、納期及び数量の条件が合わず2者は辞退となってしまい、その結果、1者随意契約になったものです。</p> <p>物品購入に係る契約においては、低入札価格調査を実施していません。</p> <p>通常は一ヶ月ごとに調達要求を取りまとめて一般競争入札に付しているが、これらは3月31日までに納入される必要があります。一般競争入札とした場合に公告に要する時間を考慮して、随意契約としています。</p> <p>経費の配分を受けた時期が2月10日でした。</p> <p>業者から参考となる価格の予定価格積算のための参考見積を取得するのに10～15日かかり、それから会計隊へ調達</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>発注（調達要求）すれば2月中に公示して入札を実施し、月内に契約できたのでは。</p> <p>【委員長小括】 調達の手続きを迅速に進めることで、安易に随意契約に流れずに一般競争入札とする努力をしてほしい。 どれも一般的な品目であるので納期を確保すれば複数の業者が参入し、金額を下げることができる。</p> <p>【抽出案件】 第381会計隊大和派遣隊（大和） ○一般競争入札 [ワンタンほか159件 他13件] ・予定価格の作成方法について、各品目ごとに見積徴取や市場調査をしているのか。</p> <p>・契約概要の「糧食品（食材）の購入」において、応札者が18者以上おり、「単価契約における予定数量に係る落札額」と「予定価格」による落札率（以下「落札率」という。）では平均85%程度だが、契約件名に「ビタミン強化米」が含まれる契約3件では、全て同じ落札者が落札し、落札率100%となっている、理由はどのようなことが考えられるか。</p> <p>・ビタミン強化米は1者応札でいるが、他に扱っている業者はないのか。</p> <p>・業者へ入札への参加を声掛けする際、それぞれの糧食品の得意分野ごとにどのような割合となっているのか。</p> <p>【委員長小括】 地元業者以外にも、総合スーパーのようなところに声掛けすれば、各品目へ応札が増えるのでは。良いものを安く買えるようにしていただきたい。 それぞれの品目は誰でも扱えるものである。農協・漁協が参入できると思われる。 自衛隊として地元のスーパーで情報収集すれば納品業者を教えてくれるのでは。情報を足で稼いでいただきたい。</p> <p>【委員長総括】 精米をはじめ調達が難しい世の中になっている。首都圏に集まり、東北では参</p>	<p>を要求しています。</p> <p>業者へ全品目に対し市場価格調査を依頼し、見積を徴取しています。</p> <p>落札者から徴取した見積価格が最低価格であったため、予定価格として採用しましたが、見積価格と入札価格が一緒であったため、落札率100%となりました。</p> <p>落札者以外の業者も扱っています。近傍の他駐屯地では他業者が扱っています。 当駐屯地の令和7年度の入札では他業者が落札しています。</p> <p>全ての品目に2社以上応札するよう声掛けしています。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	<p>加業者を探しにくい面もある。 しかしこちらから動いて取引先を広げていかないと、なにも変わらない。 相手も声をかけられると断りにくい。 「登録が難しい」と参入をためらっている業者に、「意外と簡単である」と丁寧に説明することで参加を増やしていただきたい。 自衛隊の入札に参加してもらえれば、決して利益が取れない事業ではないとわかってもらえる。多くの業者に参加してもらい、一部の業者が扱い続ける、ということ避けるようにしていただきたい。 これからも積極的に工夫していただいて活性化してもらえればと思う。</p>	
	意見・質問	回答
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
2 談合案件の処理状況について		
○談合情報件数	0件	(審議概要)
項目	意見・質問	回答
○委員からの意見質問 ○それに対する回答等	・なし	
	意見の具申又は勧告の内容	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
3 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当事案なし		